

2014年3月7日

生活協同組合連合会コープネット事業連合

東日本大震災の復興を支援する取り組みの一つとして

「お米育ち豚」の販売額の一部を「いわての学び希望基金」に寄付

コープネット事業連合（本部：埼玉県さいたま市、理事長：赤松 光、会員生協：関東信越の6生協）は、東日本大震災の復興を支援する取り組みの一つとして、3月8日（土）・3月9日（日）に会員生協158店舗で、飼料の一部に飼料用米（国産米）を活用して育てた「お米育ち豚」（主に岩手県産）の販売額の一部を「いわての学び希望基金」※1に寄付する取り組みを実施します。本取り組みは、コープネット飼料用米生産流通協議会※2が共同で行います。

震災から3年を迎えるにあたり、当事業連合では“忘れない、伝える、続ける、つなげる”ことを基本に、さまざまな復興支援の取り組みを続けています。店舗や宅配サービス「コープデリ」では、「東日本大震災復興支援募金」を実施しているほか、被災地の取引先の商品を積極的に販売しています。また、毎年、組合員と役職員による被災地域での「産地視察・交流」を実施しています。

当事業連合は、今後も「日本を、食卓から元気にしたい。」をメッセージとした、食と食料生産にかかわる取り組みを推進するとともに、被災者支援・被災地復興支援の取り組みを継続し、暮らしをともにする、すべての人たちを元気にする活動を進めてまいります。

- ※1 震災により親を失った子どもたちや、厳しい経済状況に置かれた子どもたちに対し、社会人として立ち立つまでの長期間に渡った支援を行うことを目的に、岩手県で2011年6月に創設された制度。
- ※2 国産飼料活用による自給率向上への貢献、生産者と消費者が協同する「産直事業」、「耕畜連携」の推進、休耕田の有効利用などを目的とし、コープネットをはじめ7社・団体が構成。

－実施概要－

期 間：3月8日（土）・3月9日（日）

内 容：「お米育ち豚」の販売額の一部を「いわての学び希望基金」に寄付

店 舗：コープネット会員生協の店舗（158店） ※コープながの、コープにいがたを除く

《生活協同組合連合会コープネット事業連合 概要》

【住 所】 埼玉県さいたま市南区根岸 1-4-13
 【理 事 長】 赤松 光（あかまつ ひかる）
 【会員生協】 コープみらい、いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんま、
 コープながの、コープにいがた
 【総事業高】 4,930億円（会員生協事業高計） ※2012年度
 【組合員数】 423万人（会員生協組合員計） ※2014年2月20日現在
 【ホームページ】 <http://www.coopnet.jp/>